

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、20カ国、国内外の80のパートナーと協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「ここからだの飢餓」に応える活動をしています。



2月25日に大阪マラソン
6名のランナーが出場

ハンガーゼロは、2024年2月25日①に開催される「第12回大阪マラソン」の寄付先団体として参加します。今回は6名のチャリティランナーさんがハンガーゼロ枠でエン

トリー、内2年連続の方もおられます。また大会前の2月23日①、24日②にはインテックス大阪で開催される「大阪マラソンEXPO2024」にハンガーゼロの専用ブースを出展しますので、ぜひご来会ください。同会場は参加ランナーの受付会場にもなっています。詳しくは下記の公式サイトまで。

大阪マラソン2024公式サイト
https://www.osaka-marathon.com



あなたの祝福を分かち合いませんか
Giving Back
わたしから始める…愛の恩返し

遺贈寄付

顧問弁護士が無償でご相談等お手伝いします

Zoom無料セミナー 次回は2024年2月20日
「参加希望者」は jifhtokyo@gmail.com メールまたは電話で

Hunger Zero
東京事務所・近藤 TEL.03-3518-0781
詳しくはお電話でご説明しますのでご連絡をお待ちしています

専門講師(弁護士)による出張個別相談もできます

サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	フリガナ	姓	名
(TEL)			
住所	〒		
申込日	年	月	日 NL403号

- 下記から希望されるものをお申し込みください
- ハンガーゼロサポーターとして協力します。
①毎月()円(1口1,000円)
②一時募金として 円協力します。
- 継続募金(JIFH サポーター)として協力します。
毎月()円(1口500円)
- チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
- 郵便自動引落し申込書を送って下さい。
- その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして、必要事項を記入の上、FAX又は郵送にて大阪事務所までお送りください。確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News
ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人(内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

2024

2

No.403



災害に備える
「パンのかんづめ」セット

賞味期限が5年で、卵不使用で「まもり高める乳酸菌L-137」を配合し健康にも気遣った「パンのかんづめ」です。

通常価格は1缶500円(税別)ですが、特別価格セットをご用意しま



能登地震の緊急支援

した。まさかの災害に備えてぜひご用意ください。

1セット3缶送料込み2,300円でお届け。2セットの場合は送料込み4,000円。3セットは送料込み5,000円。いずれの場合も沖縄・北海道は500円加算。

お支払い:銀行振り込み、または郵便振替の後払い

※送料は必ずキングダムビジネスまでお願いいたします。ハンガーゼロでは一切お受けできません。

お申し込み:

(株)キングダムビジネス
スマートフォンは右のQRコードから



電話注文:06-6755-4877

ニュースのお届けについて

ハンガーゼロニュースの送付時に一部利用しておりましたヤマト運輸のクロネコDM便が廃止、新た

に日本郵便の配送網経由に変更となりました。このため一部の支援者様へのお届けが遅くなる場合がございます。何卒ご了承ください。

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス http://www.hungerzero.jp
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



「つながる募金」(旧かぜして募金)に変わりました。ソフトバンクスマホの方は、Tポイントで募金ができます。

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,698,534ポイント(円)のご協力(25,483件)がありました。Tポイント募金で検索。
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1

(広島/沖縄) TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室

(東北) TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F

TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132

USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa

8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605

TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター



特集 Child Supporter
チャイルドサポーター

Hunger Zero News 今月号の内容

チャイルドサポーター支援国の活動 P.3-5

家族のStory バングラデシュ P.6

チャイルドサポーターの恵み P.7

速報!

能登半島地震 P.2
緊急支援を開始

求められる水、食料、物資を携えて活動に全力を注ぐ



輪島市朝市通りの火災現場

ハンガーゼロ緊急支援班長 近藤高史 (常務理事)

2024年1月1日に発生したマグニチュード7.6の「令和6年能登半島地震」から1ヵ月が過ぎました。1月4日から約1週間、ハンガーゼロは先遣隊4名を能登に送り、地域のキリスト教会や支援諸団体と協力し、内灘、七尾、門前、能登町、輪島、珠洲でパンの缶詰を始め水・食料・生活用品を配給しながら、被災地のニーズを調べました。今回の地震は、過疎や高齢化が進む地域に広く被害が広がり、また崩落や雪のため陸路が寸断されたことで、支援に時間が掛かる点が課題です。

断水が続く被災地で

今回の地震では各地で断水が発生し、水の供給が当初から大きな問題でした。ハンガーゼロも東日本大震災以来、福島で活動している「FUKUSHIMAいのちの水」と協力して10トン車に満載した水を発災から2週間で7回被災地に届けました。また1月10日には、被災地域と全国のキリスト教会が協力して「能登ヘルプ」(代表:金沢独立キリスト教会 岡田 仰牧師)が立ち上がり、内灘聖書教会(酒井信也牧師はハンガーゼロ理事)をベースに支援活動が始まりました。ハンガーゼロもこれに協力し1月15日以降、石川県かほく市内に提供された活動拠点へ毎週2名のスタッフを派遣し、物資の配給や始



能登ヘルプの最初の会場で報告する近藤班長



門前町での炊き出しで食材協力 倉庫に届いた物資の整理

まったばかりの避難所での炊き出しに協力しています。「世界食料デー」がつなく支援の輪

金沢では「世界食料デー」集会や礼拝が、いくつもの教会で毎年開催されてきました。今回の思いがけない地震にも素早く対応することができたのは、この協力関係があったからこそです。能登半島での支援活動はまだ始まったばかりです。今後の働きにご理解とご協力をよろしくお願い致します。



※ハンガーゼロのホームページでは最新の活動報告を掲載しています

募金はクレジットカード又は郵便振替で

左のQRコードからすぐにオンライン募金ができます。クレジットカードやコンビニ決済がご利用できます

【郵便振替での送金は】
00170-9-68590
日本国際飢餓対策機構
「能登地震緊急募金」明記

備蓄をしながら社会貢献

世界にパンを届けよう

救缶鳥

Kyu-Can-Cho

皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました！

食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。

おいしいと夢をお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰 since 1995

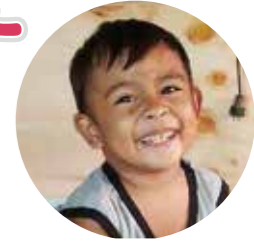
〒329-3147 栃木県那須塩原市東小屋295-4
TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索

子どもと地域の未来のために



私たちチャイルドサポーターは、子どもを取り巻く環境の改善に努めます。現地団体の協力の元に、教育、栄養改善、保健衛生、収入向上などの活動を通して、子どもたちの希望にあふれる将来のために、コミュニティが前進し続けるように応援をしていきます。



FH=国際飢餓対策機構

教育

【バングラデシュ】初めてのお祝いの行事

ジリム集落で初めてクリスマスのお祝いを企画して、子どもたちと親が参加しました。子どもたちのお誕生日のお祝いもしました。地域のリーダーや他校の先生たちも招かれ、子どもたちの喜んでる姿を見て、全員がFHの取り組みに感謝をしました。ゲストの一人は、「子どもたちが他の村の子どもたちと交流することで、多くの新しい経験をして才



能を伸ばすことができます。このようなイベントは、子どもたちに自信を持たせてくれます」と話してくれました。

また、JIFH(日本国際飢餓対策機構)の支援地域の子どもたち150人が「子どもの日」のお祝いに初めて参加しました。地域の協力の下、お絵かき大会、スポーツ大会、文化プログラムなどが行われ、3位までの子どもたちには景品が渡されました。委員長を務めた方は、「FHのこのような取り組みに満足しています。どの子どもも勉強や他の活動にもっと興味を持つようになるでしょう」と言われました。また司会を務めた教頭は、「子ども同士と一緒に競技をすることで、子どもたちは自信を身につけることができます。FHに感謝します」とお礼の言葉を述べました。

【ボリビア】子どもクラブ

アサワニ地域では、15~30人の子どもたちが子どもクラブに集っています。子どもたちは、毎月聖書のお話を聞いて



たり、知育玩具で遊んだり、学校の授業のサポートしてもらえるので、子どもクラブはとても楽しい場所となっています。

【カンボジア】全国読書デー

司書や小学校の責任者たちは、FHのサポートにより、教育・青少年・スポーツ省の図書館の司書職員から司書の管理と読書コンクールの開催について2回の研修を受けました。2023年6月にFHは、同省と協力して、地区で小学校低学年(1~3年生)レベルの読書コンテストを開催し



ました。またスパイラー地区の8つの対象校では、図書活動が盛んに行われています。

生徒たちは、読書習慣、読解力、理解力を高める活動に参加して、本を通してより多くの生活情報を得ることができています。それによって、生徒たちは物事の識別力が身につく、語彙力はもちろんのこと、規律、道徳、文学をより深く理解できるようになりました。

栄養改善



【ボリビア】

栄養不良の子どもたちを特定するために、家庭訪問が8回行われました。その結果、6歳以下の12人の子どもたちが栄養が足りなくなることがわかり、各家庭に栄養強化オイルなどの栄養補助食品が提供されました。

【ルワンダ】

鶏の飼育を通して、村人たちは卵を摂取するようになりました。また、卵を売った収入で栄養価の高い食べ物を買



うこともできるようになり、子どもたちの栄養状態が改善されています。栄養状態が危機的な状況にある家庭や、栄養不良の子どもを持つ家庭に飼育活動に参加することを奨励しています。

【フィリピン】

FHは栄養に偏りが見られる子どもたちへの支援として、スラ地区の18人の子どもたち、マトノグ地区の32人の5歳未満の子どもたちに給食支援をしました。さらに、2つの



地区の妊娠中や授乳中の母親6人が、栄養が足りていないと特定されたため、給食プログラムに参加してもらい、栄養改善を図りました。

生後6～59カ月の子どもたち50人のために離乳食作りの講習会を実施しました。スラ地区から18人、マトノグ地区から32人が参加しました。また妊婦の食事の内容についての勉強会には、計6人が参加しました。離乳食を教える会では、実際に離乳食作りをしますが、病欠した母親たちには自宅まで食事を持って行きました。その結果、病気の子どもや妊娠・授乳中の母親の状態を確認することができました。自治体もこの活動における両親の役割の重要性を認識しており、継続的な支援を約束しました。

保健衛生

【バングラデシュ】

地域の少女たちは、月経中に汚れてもいい古い服を着て過ごし、学校に行かず、社会活動にも参加していなかったため、FHは10代の少女向けに衛生講習会を実施しました。少女たち約700人が参加し、月経時に衛生を保つための



知識や、実践的な方法について学びました。FHは彼女たちに生理用布ナプキンと液体洗剤の衛生キットを配布しました。この講習会に参加した少女たちは、月経時の対処方法がわからなくなった時は、アドバイスを求めるようになってきています。これらの衛生キットのおかげで、思春期の少女たちは月経期間中に学校を休むことがなくなりました。

【ルワンダ】

サルヘシ小学校の衛生状態を改善するために、



雨水タンクが設置され教室の掃除や手洗いに使うことができるようになりました。清潔な水の使用により、健康状態の改善、学校の衛生管理が改善されています。また、雨水資源の利用は、土壌侵食の抑制など環境保護にも貢献しています。人々は谷まで水を汲みに行っていましたが、現在は各家庭まで水道を引く準備をしています。

【カンボジア】

地元住民が主体になって、地域の人々や子どもたちの衛生に関する知識と実践を高める計画を立て、トイレ建設にも着手しています。村の保健推進ボランティアのチェ・ロウ



ンさんは、「FHカンボジアに参加する前は、地域の多くの人が頻りに病気にかかり、特に女性や子どもは医療を受ける機会が限られていました。FHに参加してからは、出産前後のケア、子どもの健康管理、料理など多くのことを学んで、家庭訪問や村での会議の際にそれを共有するようになりました。FHの活動に関わることで、地域の役に立てることを嬉しく思っています」と語っています。

生計

【ウガンダ】 4つの小学校での生計活動

1つ目の小学校では、70羽のウサギを飼っていますが、活動に参加している生徒への特権として、自宅で飼育を始めた生徒たちには5羽ずつ分け、4人の男子学生が、自宅でウサギの飼育を始めています。2つ目の小学校では、学校の庭で育てた豆50kgとタマネギ25kgを収穫し、再び植えつけを行いました。3つ目の小学校では、8リットルの液体石鹸を2回製造し、それを販売して収益をあげることができました。4つ目の小学校では、15個のバスケットを作りましたが、まだ販売には至っていません。このような取り組みは、子どもたちに技術を習得させ、それを向上させながら収入を得る機会となっています。

【ウガンダ】 学校中退者に職業技能実習

若者や青少年が収入を求めて地域を離れてしまう問題があります。この問題に対処するために、学校を中退した子ど



もたち30人をFHは職業技能実習生として登録し、特に美容師、機械工、溶接工の技能を学ぶ機会を提供して、今後生計を立てていけるように支援しています。終了審査の合格者には修了証書が授与されます。若者たちは美容サロンや自動車の整備工として事業を始めることができるようがんばって学んでいます。また活動地域に留まるようにもなりました。FHは青少年の積極的な参加を促して学校を中退する学生の割合を最小限に抑える努力をしています。

【ボリビア】 職業セミナー

リオ・カイン地域の学校に通う16人の生徒が職業についての研修会を受けました。また教師たちもこの活動に参加して良い学びの時となりました。この活動に参加した高校3年生のナタリー・ロハスさんは、「自分の将来についてさまざまな問題を抱えて迷ってしまっていたので、この研修会をしてくれたFHに感謝をしています。」と話してくれました。

【フィリピン】 職業セミナー

全国子ども月間の今回のテーマは「フィリピンにいる子どもたち一人ひとりの健康、心、福祉」に焦点を当てるものでした。FHフィリピンは、若者のための職業セミナーをオンラインで開催しました。目的は、参加者が将来の職業を選択できるように導くことでした。今回は3人の元サポートチャイルドが講演者として招かれ、自身の経験に基づいたキャリアについて語りました。体験を共有することによ



て、子どもたちが将来設計するための良い動機付けとなりました。この式典を通じて、子どもたちが自分の興味や関心を生かして将来の計画を立てることを考える機会になりました。



🇧🇩 バングラデシュ アロンノン・コルくん (9歳)
ぼくの夢はリーダーになること

バングラデシュに住むアロンノン・コルくんは小学校3年生です。父親はマンゴー畑の日雇い労働者です。



【地域の様子】

彼が暮らす地域は、さまざまな宗教的背景を持つ人々が国の住宅プロジェクトを通じて定住している所です。その結果、住民たちの言語や習慣は多様で、そのことは時に様々な問題をもたらしています。

村にはインフラや通信手段が十分に整っていません。また、多くの人は文字が読めず経済的に不利な立場に立たされているため収入は限られ、家族を支えるのが精一杯の状態です。多くの家族が健康問題を抱えています。十分な医療を受けられません。村は衛生的な水が不足し、大多数が不衛生なトイレを利用しています。

【教育】

アロンノン君が通う学校は、NGO（非政府組織）が運営する小学校で土壁とトタン屋根でできています。学校は彼の家から徒歩3分の場所にあります。両親が学校を訪問して子どもたちについて教師と連絡を取ることは滅多になく、子どもの退学が頻繁にありました。

📍 アロンノン君に尋ねました

学校生活について

スタッフが時々ぼくの学校を訪問して、ぼくが学校に通っているか先生と話したり、勉強に集中するようにアドバイスをしてくれたりするので嬉しいです。

ぼくはFHを通して、学用品の支援を受けました。またFHは手洗い場も作ってくれてぼくたちはそこで毎日石鹸で手を洗っています。クリスマス、お誕生日会、「子どもの日」のお祝い、手洗いの日、スポーツ大会などのイベントもあって、清潔さを保つことや他の人を大切にすることを教わりました。

家族の変化

ぼくのお母さんはFHの保健推進ボランティアグループのリーダーになって、健康に関する訓練を受けて、学んだことを村の他のお母さんたちに話しています。赤ちゃんのお世話の仕方や小さい子どもに栄養のある食べ物を与える方法などです。また石鹸を使って手洗いをしたり、家の中やトイレを清潔に保つたりすること、誰かが病気になったときに医者の診察を受けることなども教えてもらっています。



将来の夢

ぼくはリーダーになることが夢です。だからしっかり勉強するつもりです。ぼくが教育を受ければ、人はぼくを尊重してくれます。

ぼくはFHの活動の一員になれてとても幸せですし、ぼくの両親も幸せです。周りの人もぼくたちが勉強することを励ましてくれるので、やる気が起こります。

誰もが健康で、子どもたちがみんな学校に通って、両親も周りのみんなも幸せな地域になればと思います。



チャイルドサポーターを続けて
私たちが励まされました

堀内 愛さん…チャイルドの成長が地域に良い影響

私が初めてチャイルドサポーターに興味を持ったのは高校生の時でした。世界の飢餓のために働くいろんな団体の方がときどき学校に来られ現地の活動報告をして下さいました。何か自分にできる方法で世界の飢餓に関わっていきたくて考えました。



学校に行けないくらい貧しい子どもたちのためにすぐに寄付を始めたのですが、高校生の私には経済的に難しかったです。大学生になりキリスト教会に通い始め、ハンガーゼロにもチャイルドサポーターがあると知りました。就職して暫くしてチャイルドサポーターを始めました。やっと始めることができ嬉しく感謝でいっぱいでした。

中沢賢一さん…チャイルドから届くお便りに感動！

以前、私は仕事で夏になれば毎年、アジアの奥地に出かけていました。その地で出会う子どもたちの澄んだ目と、屈託のない笑顔が何と素朴で美しかったことが忘れられません。今の日本が失った何かがありました。



アジアやアフリカの子どもたちを日本に居る我が家に招き、我が子と同じように教育を受けさせ、食事を共にするのは現実的ではありません。現地の子どもたちと私たちを結んでくれているのが「ハンガーゼロ」の皆さんです。



私はハンガーゼロの活動を日頃から敬意を持って支援してきました。ハンガーゼロは、現地に資金・物

1番目のチャイルドはフィリピンの女の子でした。手紙でやりとりをしていたチャイルドに「里親ツアー」（現スタディーツアー）で実際に会った時は感動しました。



一方、現地の様子や里子たちの生活の厳しさを見て胸が痛みました。でもハンガーゼロの支援が本当に子どもたちと地域のために役立っていると感じましたし、希望を持って生きておられる人々の姿に私自身が励まされました。チャイルドサポーターはずっと続けていきたくて思いました。それから今に至るまでいろんな国の子どもたちをサポートしてきました。小さな支援ですが、支援を受けた子どもたちが成長して地域に与えていくよい影響は計り知れません。そのためのお手伝いをさせていただいていることを感謝します。

資を一時的に支給するのではなく、その支援によって地域が継続して自力運用できるまで、現地スタッフやその地域の人々を育てる働きをされています。また子どもたちの教育にも大きな尽力を注いでおられます。

ハンガーゼロを通して毎年届くチャイルドが自筆で書いてくれる季節のお便りや写真を見るたび、成長している姿に喜び、感動しています。感謝！

いつの日か、支援させてもらったチャイルドが、次の世代を育ててゆく人材となられます様に、静かに祈り続けます。

高知ペンテコステ教会隣接のクリニック

医療法人オリーブ

大川内科

循環器内科・内科・老年内科

院長 大川 真理



私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty

ロングライフグループ

0120-550-294

受付時間 9:00~18:00 年中無休

大阪本社 / 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社 / 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

ロングライフグループ拠点: 北海道/埼玉/東京/神奈川/千葉/静岡/愛知/大阪/兵庫/京都/大分/沖縄/中国(青島)/韓国/インドネシア(ジャカルタ)

Child Supporter

2つの支援方法

子どもを支援する

支援地域の特定の子どもとつながり、地域で行われる活動をご支援いただけます。あなたと出会い、応援を受ける子どもは自分が愛される大切な存在であることに希望を抱き、地域を変えるひとりへと成長していきます。

月々4,000円

子ども1人を支援することができます。

活動を支援する

子どもたちが暮らす地域で行われる様々な活動をご支援いただけます。地域に住む人々がそれぞれの役割を果たし、子どもを取り巻く環境の改善と質の向上を目指します。

1,000円～

月々または自由なタイミングで支援できます。

ウェブサイトからお申し込みできます

お電話での問い合わせはCS事務局へ 直通TEL072-920-2226